

広報ほんべつ

本割

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2019
November 11月
No.1093

表紙

力を合わせて熱戦！
銀河の里 TREE FESTIVAL
「丸太早切り選手権 決勝戦」



Pick up

- ✿ 第7次総合計画策定作業を進めています
- ✿ 町スポーツ賞・スポーツ奨励賞が決定
- ✿ 町財政の健全化判断比率を公表します

第7次本別町総合計画の策定作業を進めています

町では、現在のまちづくり計画である第6次本別町総合計画が令和2年度に期間満了を迎えることから、新しい総合計画の策定に向け、7月10日に第1回目の策定審議会を開催し、第7次本別町総合計画（令和3年度から13年度の10年間）の策定作業を進めています。

町民の皆さんで作る計画

総合計画の策定にあたり、町民の皆さんと一緒に「まちのあるべき姿」将来像を描き、現状や思いを共有し、計画実現に向けて取り組んでいきます。あらゆる機会を通じて町民の皆さんの声を計画づくりに生かしていきますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

①本別町総合計画策定審議会について

町内の各団体から推薦を受けた22人と、今回から町民の皆さんの18歳から35歳までの60人を無作為抽出した中から応募いただく方式により4人の方が参加。合計26人の審議員により、まちづくりの方向となる基本構想と基本計画の審議を行っています。既に第1回目の審議会を終えており、年度内にと3回、次年度に4回（予定）の審議会を開催した中で審議結果を町長へ答申します。

②アンケートの実施

町内中学校生徒144人と本別高等学校生徒105人の全校生徒のほか、町民の方から1000人を無作為抽出したアンケート調査を8月30日に実施しました。現在、集計・分析中で、結果は今後町広報紙でお知らせします。

③ワークショップの実施

本別町総合計画策定審議会と本別町行政改革推進委員会、役場職員それぞれの中から22人が参加しワークショップを3回（予定）実施します。まちづくりへのアイデアや思いを共有して計画づくりをサポートしていきます。

④計画内容等の説明

各分野で活躍されている団体等へ計画内容の説明と施策等への意見をいただく場を作ります。

⑤パブリックコメントの実施

基本的な計画の意思決定の前に素案を公表し、町民の皆さんにご意見をいただき、その意見と意見に対する町の考え方を公表します。



総合計画とは

将来の本別町をどのようなまちにしていけるのか、そのためにはどんなことをしていくのかを総合的・体系的にまとめた計画で、まちづくりを進めていくための方向性を示す道しるべとなるものです。

地域づくりセミナーを開催しました

本別の「まちの魅力」をグループ討議などで掘り起こす「地域づくりセミナー（第1回）」を10月2日、町体育館で開催し18人が参加しました。今回のセミナーでは、講演の後、グループごとに本別の魅力や課題を話し合いました。

ワークショップ『本別の魅力と課題』

次に参加者が4つのグループに分かれ、本別の魅力と課題を出し合いました。

- ★参加者から出た魅力は、夕焼けや星空がとてきれいな春夏秋冬多くのイベントがあり、他のまちからつらやましがられる
- ★子どもに活気がある
- ★本別公園には、御所、アスレチック、かぶと池など、施設がたくさんある
- ★キャンプ場が無料

- 一方で、課題としては、働く場がない
- 車のないお年寄りが買い物に行きづらい
- 道内では、農業大学校があるまちなのに、卒業生が本別に居つかない
- 特産品に付加価値がない
- 子どもの楽しめるイベントが少ない
- 情報発信、PR不足



講師 大山 慎 介 さん

講演

北海道田舎プロデューサーの大山 慎介さんを講師に迎え、『まちの魅力』を洗い出す』と題し講演していただきました。大山さんは「本別町や全国の自治体がいま抱えているさまざまな問題は、誰かが解決してくれるものではない」「住民一人ひとりが自分ごととして、自分たちでこの本別を良くしていかなければという当事者意識を持つことが大切」と語ったほか、「町民全員が一丸となって今後どうすればいいのか具体的な取り組みが必要」「あなたと、あなたの家族が主人公」と話しました。



ワークショップの様子



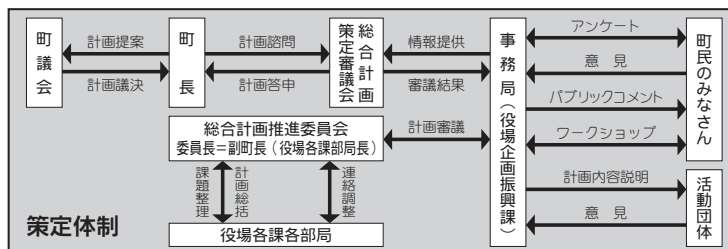
出された意見を発表する参加者

- 10/2 第1回講演：まちの魅力を洗い出す
グループ討議：本別の魅力・課題
- ↓
- 11/6 第2回講演：まちの将来像と夢を持ったまちづくり
グループ討議：未来予想図のために実現すること
- ↓
- 12/4 第3回講演：田舎だからこそそのまちづくり
グループ討議：元気であり続けるまちにするために

その他の主なご意見

- 「魅力」
- 多くの自然がある
- お年寄りが元気でお話好き
- 運動施設が充実している
- 農業基盤がしっかりしている
- 星義経伝説がある
- 本別を好きな子どもが多い
- 日照時間が長い
- 高速道路など交通の便が良い
- 明治や北海道糖業がある
- 住みやすい
- 人柄がよかったかい
- 課題
- 団結力や一貫性がない
- 担い手が不足している
- 人口減少・少子高齢化
- 商店街に活気がない
- 使っていない施設がある
- まちとして決め手が少ない
- 空き家・空き店舗が多い
- 街中に駐車場が少ない
- 特定の人がイベントを担う
- チャレンジ精神がない
- 地元愛を持つ大人が少ない
- まちの財政が厳しい

この件に対するご意見等は企画振興課 企画・生涯学習・行政改革担当
☎22-81211まで



令和
元

町スポーツ賞に

本別クラブが

スポーツ奨励賞に4個人

今年度のスポーツ賞・スポーツ奨励賞が10月23日の町教育委員会で決定しました。受賞者は次の通りです。

スポーツ賞

団体

【優秀選手】

本別クラブ

監督 柏崎光子
主将 笹森留美子
第50回記念全国ママさんバレーボール大会
北海道予選会 優勝



スポーツ奨励賞

個人

【優秀選手】

奥村 亮介さん
(北8丁目)

第54回北海道高等学校弓道競技選手権大会
十勝支部大会 優勝



授賞式は

11月3日(文化の日)

午前10時から

中央公民館大ホールで

行われます

教育委員会 ☎22-5111

貝瀬 茉佑さん
(南2丁目)

第61回十勝高等学校新人陸上競技大会兼
第35回北海道高等学校新人陸上競技大会
十勝支部予選会 女子やり投 優勝

府川 慧哉さん
(追分牛)

第51回十勝高校春季剣道大会
1年男子個人の部 優勝

増田 大輝さん
(栄町)

第69回全十勝陸上競技選手権大会兼
第74回国民体育大会陸上競技十勝地区予選会
男子ハンマー投 1位
第74回国民体育大会陸上競技大会北海道選手
選考会 少年A男子ハンマー投 3位
第72回北海道高等学校陸上競技選手権大会兼
秩父宮賜杯第72回全国高等学校陸上競技対校
選手権大会北海道予選会 男子ハンマー投 4位

国民年金

国民年金保険料は 社会保険料控除

の対象です

その211

国民年金保険料は、所得税や住民税の申告において、納めた全額が社会保険料控除の対象となります。平成31年1月から令和元年12月までに納めた保険料が対象です。社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告を行うときに、保険料を納めたことを証明する書類の添付が必要となります。

このため、平成31年1月から令和元年9月までの間に国民年金保険料を納めた人へは、11月に日本年金機構から「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が送付されます。

また、令和元年10月から令和元年12月までの間に、今年はじめて国民年金保険料を納めた人へは、翌年の2月に送付予定です。

なお、ご家族の国民年金保険料を納めた場合も、ご本人の社会保険料控除に加えることができますので、ご家族あてに送付された控除証明書を添付の上申告してください。

控除証明書に関するQ&A

Q 控除証明書の見込み額とは何ですか？

A 11月発送の控除証明書を作成した時点での納付方法で、引き続き12月31日までに納めた場合の納付見込み額を表示しています。

(注) 2月発送の人へは、納付額が確定していますので、見込み額はありません。

Q 控除証明書をなくしてしまった場合再発行はできますか？

A 再発行は可能です。年金加入者ダイヤルまたは帯広年金事務所へお問い合わせください。

なお、ねんきんネットのユーザIDをお持ちの方は、ねんきんネットを利用して再発行の申請ができます。



控除証明書に関する問い合わせ先

「ねんきん加入者ダイヤル」

☎0570-0033-0004

帯広年金事務所

☎0155-251-8113

日本年金機構のホームページは

<https://www.nenkin.go.jp/>

住民課可籍年金拒止

☎22-8128

『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』 に基づく健全化判断比率等を公表します

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧になれます

『地方公共団体の
財政の健全化に関する法律』
の規定により毎年度地方公共団体の
決算状況を連結ベースで財政分析する、
健全化判断比率等の算定および
公表が義務付けられています。

地方公共団体の財政の 健全化に関する法律とは

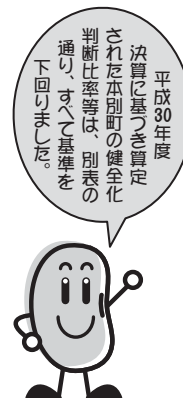
これまでの自治体再建法制度では、地方公共団体の普通会計において赤字額が標準財政規模の20%（都道府県は5%）を超えるとききなりレッドカードが出て財政再建団体となり、イエローカードともいえる注意喚起の段階がありませんでした。また、特別会計や企業会計にいくらか累積赤字があっても財政再建団体とはなりません

この法律では、「早期健全化」と「財政再生」の二段階で財政悪化をチェックするとともに、特別会計や企業会計もあわせて連結決算により地方公共団体の財政状況をより明らかにしようとするものです。

○財政再生団体（レッドカード）の前に、早期健全化団体（イエローカード）の段階が設けられました

○地方公共団体の本体に公営企業・一部事務組合・第三セクターなども加えて判断するようになりました

○単年度の現金収支に加えて、過去からの累積に基づく基準ができました（将来負担比率）
○公営企業の経営に関して、経営の健全化を促す基準ができました（資金不足比率）



早期健全化団体になると

健全化判断比率指標のいずれかが早期健全化基準を上回ると、財政健全化計画の策定（議会の議決、外部監査の要求が義務付けられ、計画の実施状況を毎年度議会に報告、公表し、早期健全化が著しく困難と認められるときは知事から必要な勧告が行われます。
（平成20年度決算から適用）

財政再生団体になると

健全化判断比率指標のいずれかが財政再生基準を上回ると、財政再生計画の策定（議会の議決）、外部監査要求の義務付け、計画の実施状況を総務大臣に協議し、同意を求めなくてはなりません（※1）。また、財政運営が計画に適合しないと認められる場合等において、予算の変更等が勧告されます。
（平成20年度決算から適用）
※1 同意がなければ、災害復旧事業費等を除く地方債の起債が制限されます

経営健全化基準について

早期健全化基準に相当するもので、各公営企業会計の資金不足比率が経営健全化基準を上回れば経営健全化計画の策定が義務付けられます。
（平成20年度決算から適用）

健全化比率の 一般家庭でのイメージ

私たちの1年間の家計に例えると、日々の生活における収入と支出の状況や、現在の借入金と貯金のバランスを比率化したイメージとなります。

例えば、二世帯住宅で暮らすAさん夫婦世帯（一般会計、息子さん夫婦世帯（企業会計）を本別町に例えた場合、

◆実質赤字比率

Aさん夫婦世帯の1年間の収入と支出の結果、赤字だった場合、その赤字額が家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆連結実質赤字比率

Aさん夫婦世帯、息子さん夫婦世帯の1年間の収入と支出の結果、赤字だった場合、その赤字額がAさん夫婦世帯の家計の規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆実質公債費比率

家族全員の1年間の住宅取得や自動車購入などの借入金返済額のうち、Aさん夫婦世帯が負担した返済額が、Aさん夫婦世帯の家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆将来負担比率

家族全員の住宅取得や自動車購入などの借入金残高など、Aさん夫婦世帯が将来負担を予定している費用から貯金を差引いた額が、Aさん夫婦世帯の家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。



平成30年度決算に基づく本別町の 健全化判断比率および資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第3条第1項および第22条第1項の規定により、本別町における平成30年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率について公表します。

1 健全化判断比率

平成30年度本別町各会計の決算に基づき健全化判断比率を算定したところ、下表のとおり、いずれの指標についても早期健全化基準、財政再生基準を下回りました。

指 標	本 別 町		早期健全化基準	財政再生基準
	平成30年度	平成29年度		
実 質 赤 字 比 率	－ %	－ %	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	－ %	－ %	20.0%	30.0%
実 質 公 債 費 比 率	9.4%	8.7%	25.0%	35.0%
将 来 負 担 比 率	30.1%	25.0%	350.0%	

※実質赤字比率または連結実質赤字比率は、それぞれ赤字額がないため「－」で表示しています

2 資金不足比率

各公営企業会計における資金不足比率については、平成30年度決算において、いずれの会計も経営健全化基準を下回りました。4会計のうち国民健康保険病院事業会計で資金不足が生じている状況にあることから、入院・外来収入の確保と全般に渡る支出の抑制など資金不足解消に向けた取り組みの強化を図り、経営健全化に努めていきます。

会 計 の 名 称	本 別 町		経営健全化基準
	平成30年度	平成29年度	
水 道 事 業 会 計	－ %	－ %	20.0%
国民健康保険病院事業会計	10.3%	－ %	
間 易 水 道 特 別 会 計	－ %	－ %	
公共下水道特別会計	－ %	－ %	

※資金不足比率は、資金不足額がない場合は、「－」で表示しています

○健全化判断比率および資金不足比率については、監査委員の審査に付した後、その意見を付して、9月10日開会の第3回定例町議会に報告いたしました。

みんなDE CHALLENGE

スタッフ
が病院を
飛び出し
町の皆さんとふれあう

オープニングセレモニーでは、イベントの実行委員長である郡山智也副院長が「身近な病院を感じていただき、今日は楽しんでください」とあいさつ。続いて、一条正彦院長が「地域医療における国保病院の役割とは」と題して基調講演を行い、自らが救急搬送された体験談を交えた一次救急体制の重要性のほか、地域の病院の現状や、同病院の取り組みについて語りました。



郡山智也実行委員長あいさつ

午前11時の開場に合わせ、本別餅つき保存会十五夜会（菅原信子会長）の協力により、餅つきの体験会がスタート。子どもから101才の高齢者まで、たくさんの参加者が代わる代わる杵を振り上げると、来場者から「どっこいしょー」の掛け声が上がりました。つきたてのお餅は会場で提供され、来場者はきな粉やあん、納豆、磯辺などの味を楽しみました。



体験会でついたお餅が来場者に振る舞われました

本別町国民健康保険病院（一条正彦院長）が主催する「元気の処方フェスティバル」が9月28日、中央公民館大ホールで開催されました。このイベントは、同病院が開院から70年、太陽の丘に移転してから20年目の感謝を込め、町民の皆さんとふれあうイベントとして企画されました。来場した約180人の町民らは、地域医療の現状や健康について学び、同病院への理解を深めました。

「予算」について
町国保病院は、平成30年度の決算で資金不足が生じ、北海道より早期解消を図るよう助言を受けたことから、9月議会において一般会計から3億円の繰り入れを行いました。

また、同病院の専門スタッフによる体験・実践ブースが開かれ、看護師が災害に備えた簡易トイレづくりを紹介。他にも、転倒予防や成人用おむつのあて方教室の開催、食生活診断のクイズやコスプレコーナーも登場するなど、病院のスタッフと来場者との交流が図られ、会場はにぎわいました。

ドクターとの交流セッションでは、郡山副院長が「あなたは認知症?」、武田真一院長が「高血圧の知らない世界」をテーマに講話し、参加者は医師との会話による相互交流を図りながら、本別町民に多い病気にについて知識を深めました。



身長と体重から個々のBMIを算出



災害時に役立つドライシャンプー体験などのほか血圧測定も



本別町民に多い「高血圧」「認知症」をテーマに講話



放射線から身を守る。鉛が重い…



元気の処方フェスティバル実行委員会一同



ちょっとしたコツで快適に



冬が来る前に転倒予防!

本別町国民健康保険病院 イベント

「元気の処方フェスティバル」 ～20年目の感謝祭～

今から20年前、町国保病院は北6丁目から太陽の丘へ移設され、ケアセンターや老健施設とともに包括的な医療介護施設として建設されました。現在、当院では約100人の職員が24時間365日の救急医療を行い、入院は60病床を維持。外来は内科・外科・耳鼻咽喉科のほか、人工透析も実施しています。

公立病院の役割と現状

当院は公立病院として、①24時間救急医療体制の維持、②病棟ベッドの確保、③専門外来の確保、などの採算の得られない部門も担っていますが、町民の利益を図るためにも失くしてはならないと考えています。

救急搬送された患者様の適切な病状判断、適切な専門医療機関への引き渡しのためにも救急医療は大切です。また、町民の皆さんが町外病院に通う必要がないよう、眼科や泌尿器科、小児科、皮膚科、整形外科、脳神経外科の専門外来を開設しています。しかし当院は、患者数の減少や国の医療費抑制などの影響により赤字額が大きく、他の公立病院と同様に経営は厳しい状況です。このたび、町や町議会のご理解をいただき、9月議会において病院の運営資金に財政支出をしていただきました。



基調講演要旨

町国保病院の取り組み

経営改善を含めた前向きな取り組みとして、当院では地域連携室を設置しました。他院との連携を図り、患者の皆さんが町内の施設で過ごせるよう調整を図るほか、自治会向けの医療講話なども実施。また6月より毎週水曜日に夜間外来を開設し、勤務を終えた社会人でも放課後の児童生徒でも診察できるよう診療時間を拡大しました。

当院では今後とも病院運営の健全化に取り組むとともに、町の皆さんに寄り添う医療を進め、地域の核となる開かれた病院づくりを進めてまいります。



基調講演には180人の町民らが参加

木にふれあい、体験イベントが満載！



蒔割り体験



木製のバットでトスバッティング



「パプリカ」を演奏する十勝の森音楽隊



ウッドキャンドルでマシュマロがおいしく焼けました



シカの角を的に輪投げ



ペレット窯で焼くピザ作り



焚き火で焼くパン作り



クリスマスリース作り



ご当地グルメを買い求める来場者



マイ箸づくり



ももんがの森のクラフト作り



本別・足寄・陸別の3町連携イベント「銀河の里 TREE FESTIVAL 2019 in ほんべつ」(実行委員会主催)が10月6日、本別公園静山キャンプ場で開催されました。

木に触れ、感じて、学ぶ

今年で4回目となるこのイベントは、森林に囲まれ林産業が盛んな本別、足寄、陸別3町の林業関係企業や団体などが、これまで守り伝えてきた林業や、カラマツを中心とした十勝の木の魅力を、皆さんに身近に感じてもらうことを目的に開催しています。

会場のステージでは、十勝産カラマツの伐採ショーや枝払いショー、来場者がタイムを争う丸太早切り選手権などが行われました。また会場内では、ベレット窯を使って焼くピザ作り、蒔割り、木の玉プール、木から垂らされたロープを上る「ツリーイング」などの体験コーナーや、池北3町のご当地グルメを提供する屋台が並んだほか、今年は、十勝産のシラカバやカエデなどで作った楽器を演奏する「十勝の森音楽隊」が結成され、おそろいのボンチョを身に付け子供たちに人気の「パプリカ」を演奏しながら会場内を回りました。当日は、町内外から約1800人の家族連れなどが来場し、秋晴れの木漏れ日に包まれながら、イベントを満喫しました。



人気を博した「ツリーイング体験」



開催を記念した植樹会

チェーンソーの音を響かせ、迫力のステージショー



枝払いショー



簡易製材機による実演



足寄岐志会による伐採ショー

第5回目は、本別町出身で帯広百年記念館学芸員の大和田努さんに、歴史民俗資料館が所蔵する古い写真・資料から本別空襲と映画館について紹介していただきます。

空襲と映画館



本別劇場の鉄柱

空襲の爪痕は資料館の資料として保存されています。その一つに、「爆撃によってできた穴がある本別劇場の鉄柱」があります。広報ほんべつ6月号「歴史散歩」にある本別劇場内部写真に見える柱が、もしかしたらこの柱であるかもしれません。いずれにしても本別劇場の建物内部の柱に届いた爆撃の威力を物語る資料です。本別劇場は現在のエリート（北4丁目7-2）のある場所に建てられており、大きな被害を受けた地区の資料であるとも位置付けられます。資料館には、他に銃弾を受けたタンスや、本別川に逃げた際に必死に掴んでいた草花を押し花にした資料などがあり、毎年開催される空襲展で被害の実態を伝えています。本別劇場の前身「本別座」は大正7年に創業。このころは第一次世界大戦の影響による豆価格の上昇、かつ製紙業社大手が木材を求めて本別に進出する時期で、本別は好景気に沸いていました。そんな中、演劇や映画を見られる新しい娯楽施設とし



映画宣伝用アイデアノート

お問い合わせ

歴史民俗資料館
☎ 22-2141
(内410)
図書館
☎ 22-5112



歴史散歩 その5

本別町は、太平洋戦争末期の昭和20年7月15日に空襲の被害を受けました。午前8時ごろ、上浦幌方面から米軍艦載機が侵入、農業大学校のある仙美里の高台付近から反転して爆撃を開始しました。50分間の空襲で亡くなられた人は40人、負傷者14人、全焼家屋279戸、大破家屋113戸、罹災者1915人の被害になりました。特に現在の北3丁目、北4丁目の被害が大きく、亡くなられた人が集中した地区となっています。私の祖母は当時上仙美里に住んでいて、防空壕に近くのひとと避難したところ鎌を持ったまま壕に入ってきた人がおり、鎌を外に置いてくるべきか議論になったこと、本別方面の火災の煙の量に驚いたことを聴いたことがあります。



本別座



本別劇場

て本別座が開業します。初代部田平吉氏は岐阜県出身。義に篤く旅芸人を助ける存在であったそうです。昭和28年には洋画専門の本別セントラルを開業するなど長く業界に携わりました。

資料館は本別座の写真や、昭和37年と39年の映画館宣伝アイデアノートなどを保存しています。戦争の時代も映画館がたくさんあった時代も、次第に遠くなつていきます。資料館は、残された資料やそれに関する語り部たちの記録を保存し、本別の出来事を未来に伝えています。

Information

令和元年度

障がい者週間記念事業

テーマ「障がいがあっても暮らせるまちづくりとは」

このイベントは、障がい者福祉について関心と理解を深めることを目的に毎年開催しています。子どもから大人まで楽しめるさまざまな催し物を企画しています。皆様のご来場をお待ちしています。

プログラム

午前10時	開会式、加盟団体・個人による展示・出店
午前10時20分	ゲームコーナー・縁日ほか
午前11時30分	バザー
午後1時	発表 発達障がいを考える「個性 それが大事！」

とき 11月30日(土) 午前10時～午後2時

ところ 中央公民館

主催 チャレンジド・ネットワークほんべつ



発表 発達障がいについて考える「個性 それが大事！」

発達障がいを持つ人たちは、ちょっと変わった部分があるかもしれませんが、でもその個性を認めて応援してあげることが大切です。障がいがあっても安心して暮らしていけるまちづくりについて考えてみませんか。

製作者：チャレンジド・ネットワークほんべつ副会長 井出直美さん
ナレーション：チャレンジド・ネットワークほんべつ副会長 羽賀健一さん
協力：ほんべつつつじの園、インクルード、ほんべつフリーライフ

みんな集まれ、楽しいことがいっぱい！
(ゲームコーナ・縁日など)

- ・はた織り体験
- ・野菜輪投げ
- ・ぬいぐるみ輪投げ
- ・ターゲット9
- ・冬の縁日／工作

※数量限定の景品もあります

ポップコーン
無料配布。
子どもくしも
あるよ！



☆展示・販売

- ・作品販売
- ・農作物販売
- ・クレープ
- ・から揚げ
- ・アイスクリーム
- ・喫茶

☆バザー

- ・カレーライス（1杯 200円）
- ※事前に食券をお買い求めください



問い合わせ チャレンジド・ネットワークほんべつ ☎ 22-8320
(事務局 本別町社会福祉協議会)

ラリーカーが爆走 9/22

ラリー北海道（アジアパシフィックラリー選手権第7戦、全日本ラリー選手権第8戦、ジャパンスーパーラリーシリーズ第4戦）が9月22日、上押帯から美蘭別、活込間の13.79kmスペシャルステージ「本別林道コース」で開催されました。美蘭別の観戦エリアでは、道内外から訪れた観客の前をラリーカーが爆音とともに土煙を上げながら走り抜けました。開催前日の9月21日には、道の駅「ステラ★ほんべつ」でラリーパークも行われ、多くのファンがラリーカーに声援を送りました。



子ども園で防火フェスティバル 9/26

認定こども園ほんべつ（石田恵園長・134人）で避難訓練など防火や防災の大切さを学ぶ「防火フェスティバル」が9月26日、同園で行われました。園児たちは、本別消防署や本別消防団の協力のもと、防災カードを使ったゲームを行った後、スモークマシンを使用して煙を充満させた廊下を避難する訓練を実施。消防団員の放水訓練なども見学しました。



幼児たちがイモ堀り体験 9/19

ひまわり農園有志の会主催による町内の保育所幼児たちを対象にしたイモ堀りの会が9月19日、ひまわり農園（勇足西1のほ場）で開かれました。イモ堀りに参加した勇足保育所21人、仙美里保育所5人、認定こども園の年長26人、合計52人の幼児たちは、列になり競い合いながらビニール袋いっぱいイモを収穫。大きなイモを堀り当てるたびに、大きな歓声を上げて喜んでいました。



軽快な演奏を披露 9/21

第48回町音楽祭（町文化協会、町中央公民館主催）が9月21日、中央公民館で開催されました。文化協会会員や一般町民ら6団体の総勢57人が出演し、軽快なリズムで吹奏楽やピアノ演奏など日ごろの練習の成果を披露。演奏が終わるたびに、会場を訪れた約180人の観客から大きな拍手が送られていました。



校訓 創意実践

本高の行事・部活動

総合的な探究の時間（1学年）

今年度より「総合的な探究の時間」が始まりました。本校では「とかち創生学」というテーマで、地域の皆さんと共にさまざまな課題解決に取り組みます。まずは本別町の特産品を用いた「スパイスからつくるカレー」に挑戦。班ごとに何度も議論や試作を重ね、独自のカレーが完成しました。今後は本別町の課題解決に取り組みます。その事前学習として9月の町議会を見学しました。



オープンスクール開催

8月29日（木）、オープンスクールを開催し、町内外の中学校の3年生69人と保護者等が参加しました。各学年の授業の見学や英語・数学の体験授業の後、本別高校での学習や進路、行事等について説明。また各部・同好会の見学・体験にも参加していただき、本別高校について理解が深まったことと思います。皆さんの入学を心待ちにしています。



運動部、新体制でスタート！

本校の運動部は、5月下旬の高校連十勝支部大会、6月の全道大会を最後に3年生が引退。各部とも新体制での活動が始まりました。陸上競技部は早くも2年生3人が全道大会へ。110mハードルで準決勝、砲丸投げでは決勝まで駒を進めました。また、野球部は助っ人の協力を得て、秋季大会も単独チームで出場。帯広緑陽戦ではホームランも飛び出し、その健闘ぶりがたたえられました。その他の競技でも本高生の活躍が期待されます。



今後の主な行事

3月1日 卒業式
3月24日 修了式・離任式

※ホームページにさまざまな情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

北海道本別高等学校

中川郡本別町弥生町49番地

TEL：0156-22-2052 / 2068

<http://www.honbetsu.hokkaido-c.ed.jp/>

白球を追いかけて熱戦 10 5

本別ライオンズクラブ（方川一郎会長）主催による優勝旗争奪第39回東北方面少年野球新人戦大会が10月5日、太陽の丘野球場で開催されました。大会には、小学5年生以下で編成された本別、足寄町の4チームが出場。トーナメントで試合が行われ、選手たちは、父母らの声援を受けながら白球を追いかけて、熱戦を展開しました。大会結果は、決勝で本別レッズ野球少年団（渡邊瑛太主将）が足寄スラッカーズを8-0で下し優勝を飾りました。



災害に備え訓練 10 6

向陽町自治会（木南孝敏会長・220戸）の避難訓練が10月6日、同自治会で開催されました。訓練は、地域住民の防災意識向上と避難体制を確認するため実施されたもので、午前10時に防災無線の屋外拡声器や広報車による避難の呼び掛けで開始。同自治会の約100人は、自宅の火の元を確認したり、近隣の安否確認なども行いながら、ふれあい交流館の駐車場に避難し、自治会の役員が名簿に基づき避難者の確認を行いました。訓練の最後には、本別消防署員から消火器の取り扱いを習い、初期消火訓練に取り組みしました。



自己記録に挑戦 9 29

町水泳協会（及川哲夫会長）主催の第3回本別水泳スポーツ少年団記録会兼第44回本別町民水泳大会が9月29日、町民水泳プールで開催されました。同プールで今シーズン最後に行われたこの大会には、小学生から高校生まで39人が15種目80競技に出場。選手たちは、父母らの声援のもと自己記録に挑戦し、最後まで泳ぎきりました。



豊かな表現力で発表 10 4

第48回本別町中学生英語暗唱・意見発表大会が10月4日、町体育館で開かれました。英語暗唱には、町内の中学校の代表者12人が臨み、それぞれ豊かな表現力と堂々とした態度で発表。審査の結果、齋藤愛莉さん（本別中3年）と笹野愛梨さん（同2年）が最優秀賞を受賞しました。意見発表には6人が出場し、「言葉」をテーマに発表した岡本小楮音さん（同2年）が最優秀賞を受賞しました。



HOTほんべつを味わう 9 26

本別のまちの魅力や情報を発信するホームページサイト、「HOTほんべつ」がこのほどリニューアル公開され、それを記念してサイトに登場した町民や関係者など約40人が参加した交流会が9月26日、津村会館で開催されました。交流会では、サイトを運営する一般社団法人地域包括ケア研究所（東京）藤井雅巳代表理事が、「まちの魅力は人」「このまちで出会った人はとびきりおもしろい」などとあいさつ。高校生にお店を紹介してもらったことや、ここに暮らす人々を表現したことなど、リニューアルしたサイトについて説明しました。その後は、福祉や農工商など多彩な業種の参加者たちが、歓談しながら交流を深めました。



本高生が命の大切を学ぶ 9 26

本別高校（近藤浩文校長）の全校生徒105人を対象に「命の大切さについて」の講演会が9月26日、同校で行われました。講演会では、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實医師が子どもの命をテーマに講演。鎌田医師は自身の生い立ちや難民キャンプでの医師活動の経験などを通じ、「頭が良いことよりも、心の温かさや人とのつながりを持てる力が大切」などと語り、生徒らは、時折メモを取りながら真剣なまなざしで話を聞きました。



交通事故の撲滅を願って 9 21~26

秋の全国交通安全運動期間（9月21日～30日）に合わせ、町内では多数の団体が交通安全運動を展開しました。9月21日には、本別町老人クラブ連合会（小川健次会長）の会員36人が北8丁目ふれあい公園で交通安全キャンペーンを実施しました。同24日には、本別地区交通安全協会（長谷川隆司会長）が主催する「交通安全タスキリレー」が行われ、陸別町を出発し、足寄・本別とタスキをリレーしながら街頭啓発を実施。本別町では、北8丁目ふれあい公園でタスキを受け継ぎ、長谷川会長が「交通事故撲滅のため積極的に活動していきます」と決意表明をした後、柏木町自治会婦人部とともに計60人でキャンペーンを行いました。また、同25日には、北海道警友会本別地区（坂井久恵地区長）の9人が、同26日には、本別ライオンズクラブ（方川一郎会長）の12人が、北8丁目ふれあい公園で啓発チラシなどを手渡ししながら交通安全を呼び掛けました。



老人クラブ連合会



タスキリレー決意表明



警友会本別地区



本別ライオンズクラブ



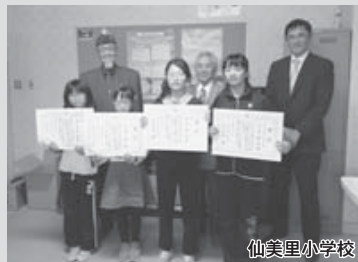
火災に注意！

10 15

秋の全道火災予防運動（10月15日から31日）初日の10月15日、防火啓発パレードが町内で実施されました。パレードは、午前9時にサイレンが吹鳴された後、本別消防署前で出発式を行い、消防車両8台と町危険物安全協会の車両8台で町内約5kmを走行し、火災予防を呼びかけました。

防火標語・ポスターコンクール

本別町防火管理者連絡協議会（宮崎統会長）、本別町危険物安全協会（伊藤英昭会長）が本別ライオンズクラブ（方川一郎会長）の協賛を得て、町内の小学校4年生から6年生を対象に防火標語と防火ポスターの募集をしたところ、防火標語118編、防火ポスター26作品の応募がありました。子供たちからの火災予防へのメッセージが込められた作品は、防火標語・防火ポスター展として10月15日から24日まで中央公民館ロビーに展示されました。また、防火ポスターの部最優秀賞（本別町防火管理者連絡協議会会長賞）の作品は、防火ポスターとして印刷され町内各事業所に配布し掲示されています。入賞者は次の通り。（敬称略）



仙美里小学校

【防火標語の部】

本別町防火管理者連絡協議会会長賞 「小さな火 未来を変える 悪魔の手」 鈴木愛花（中央小6年）
本別町危険物安全協会会長賞 「見のがした 小さな火でも 大事に」 山下佳悟（勇足小6年）
本別ライオンズクラブ会長賞 「火おこしは むかしは大事 今は火事」 吉村一湧（中央小5年）

【防火ポスターの部】

本別町防火管理者連絡協議会会長賞 太田優季（仙美里小6年）
本別ライオンズクラブ会長賞 井内櫻子（勇足小5年）

勇中学生が窓拭きボランティア

10 11

勇足中学校（椿原雅章校長）の全校生徒24人が10月11日、勇足地区公民館の窓拭きボランティアを実施しました。これは、日ごろお世話になっている地域の人たちへの感謝の気持ちを込め、公民館まつりなど地域住民が利用する同公民館で実施したもの。生徒たちは、雑巾や水切りワイパーなどで窓を一枚一枚丁寧に掃除し、施設が大変きれいになりました。



身体を動かし仲間と交流

10 6

本別町社会福祉協議会主催の第48回高齢者運動会が10月6日、町体育館で開催されました。運動会には、町内の9老人クラブなどから122人が参加。上地区老人クラブの布施秀夫さんが「正々堂々と戦うことを誓います」と選手宣誓した後、赤・白・青の3チームに分かれて、ジャンケンリレーや玉入れ、サイコロ転がしなど7つの競技で得点を競いました。参加者たちは、げんきはつらつと身体を動かし、仲間たちと交流を深めました。



スポーツと味覚の秋を満喫

10 14

体育の日記念事業第6回義経の里スポーツフェスティバル（町・町教育委員会主催）が10月14日、義経の里本別公園で開催されました。マラソン大会では、2kmと4kmの部門に小学生から一般まで57人が出場。スタートの合図に合わせて、参加者らは自分の記録に挑戦する力走を繰り広げました。この他会場では、ストラックアウトやキックターゲットなどのゲームラリー、キックベース大会、緑日や黒豆うどんの食事のほか、今年は幼児対象のサッカー教室が行われ、来場した幼児から大人まで約480人がスポーツと味覚の秋を満喫しました。



ママさんバレーで全道大会優勝

10 9

第50回記念全道ママさんバレーボール大会で優勝した本別クラブの西谷恵監督ら3人が10月9日、教育委員会を訪れ、佐々木基裕教育長に結果を報告しました。笹森留美子主将は「8月の全国大会出場の経験からチームの結束力も高まり、優勝することができました」と報告。佐々木教育長は「チームワークで勝ち取った優勝。おめでとうございます」「とても素晴らしいチーム。今後もチームの育成も含め、連覇を目指して頑張ってください」と激励しました。



本別町役場 新規採用職員紹介

ちびっ子も願うまち

今年度の7月、8月に新規採用となった2人を紹介します。町民の皆さんのお役に立てるよう頑張ります。



本別町国民健康保険病院
看護室 看護師
やまもと 眞吾

7月から町国保病院で勤務することになり、埼玉県から妻と息子の3人で本別町へ引っ越ししてきました。北海道での生活は初めてで不安も多いですが、職場や自宅の近所の方々に助けられながら、家族で楽しく過ごしています。町民の皆さんよろしくお願ひします。
佐賀県出身 42歳



本別町国民健康保険病院
臨床検査室 検査技師
はたごう た

前職場は池田町で、8月より町国保病院に勤務することになりました。私の本別での目標は健康であることと、そのための趣味は温泉巡りやツーリングでの食歩きと外食などです。病院でも、健康診断やドック検診でお会いすると思います。のこごうさんへお願ひします。
広島県出身 27歳

みんなの健康 423

「がん」というとどんなイメージを持つでしょうか？「なったら死ぬ」「だつたり」「怖い」というところでしょうか。そもそも「がん」とは何でしょうか。「がん」とは異常な細胞Ⅱが細胞が体の中で「勝手に増える」病気で、がん

「がん」の簡単な話

細胞が体の中にあつても特に問題はありませんが、実際に体の中には常にかん細胞はあります。正常な体であれば、異常が増える「前」に体内から排除もしくは修復される仕組みがあるから問題にならないのですが、その仕組みが正常に働かないと、がん細胞が増えなが



本別町国民健康保険病院
内科医長
武田 真一

「体の機能」に支障を来します。まずは自分が生まれた臓器で勝手に増え、その臓器の機能の邪魔をします。さらに、バラバラと血液やリンパに乗り、「他の臓器」へ移動、増殖し、他の臓器の機能を邪魔します。例えば、「肺がん」は肺で増殖し、呼吸を障害（息苦しい）、血液に乗り、「骨」で増えれば骨を弱くし痛みを生じます。このように「がん」とは「自分だけが増えればよい」「そして本来の仕事はしなさいよ」「しかも正常の細胞の邪魔をします」という自分勝手な細胞の病気なのです。

がん治療はさまざまありますが、やはり「早期発見・早期治療」が何と云っても最重要です。そのためには、「がん」が正常な機能を邪魔する（症状が出る）前に「がん検診」をきちんと受けることが大切。車の車検のようにがん検診をきちんと受けることが「がん」で死なないための予防の1つです。

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたぐさんの愛に包まれてぐっすり育ちあそばさね！



南一丁目

中村 桜臥 (ひかりママ)



勇足元町

丸山 里桜 (朋美ママ)



栄町

越後 絢未 (和希ママ)



北一丁目

木村 凛人 (結希ママ)



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

足寄町

第40回足寄町女性のつどい

お笑い芸人のゴルゴ松本さんを招いての基調講演のほか、赤十字バザールや特産品販売なども行いますので、ぜひ会場へください。

口とき 12月1日(日)
午前10時〜午後3時

口ところ 足寄町民センター

陸別町

驚き！おもしろ

科学実験2019

置戸中学校、北見市常呂中学校の先生と北見工大の先生・学生、地域おこし協力隊の人などによる、さまざまな実験が目玉押しです！陸別中学校のボランティア部も参加します。

その他、天文台による実験や足寄動物科学博物館の化石・鉱物掘り体験もあり、子どもから大人まで楽しめる内容です。皆さんのご来館をお待ちしております。

口とき

11月9日(土)
天文台開館時間
午後1時〜午後9時30分
実験コーナー
午後1時〜午後6時

※入館料のみで実験に参加いただけます。

口ところ 銀河の森天文台
(陸別町宇遠別)

口問い合わせ 銀河の森天文台
☎2718100

口内容

・講話「良い姿勢(キレイ)と健康を！」
講師…相澤幸一朗氏
(姿勢科学士)
・基調講演「出張「ル」藝(命)の授業」
講師…ゴルゴ松本氏
(お笑い芸人)

口参加料 無料

口その他 昼食(800円)または託児所を希望の方は11月19日(火)までにお申し込みください

口申し込みおよび問い合わせ 足寄町教育委員会生涯学習担当
☎2513188

中学校野球部が全道準優勝を報告

10/16

10月5日から14日に長沼町などで開催された野球の第21回 IBA-boys U-14 北海道大会(道中軟式野球連盟主催)に出場し準優勝を果たした本別・勇足中学校野球部(佐川巧真主将)の部員9人が10月16日、教育委員会を訪れ、佐々木基裕教育長へ結果を報告しました。大会では、トーナメントを勝ち進み、決勝では南空知ベースボールクラブと対戦。惜しくも0対1で負け、準優勝となりました。佐川主将は「決勝では勝ちきれなかったが、全員でカバーし合いもっている力を出し切れた」「来年も十勝大会で勝ち抜いて、また全道出場を決めたい」と報告しました。佐々木教育長は「9人と少ない人数の中、チーム一致団結し良く頑張った」「これからのオフシーズン、基礎体力づくりに励み、来年も頑張ってください」と激励しました。



まちの情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

ご寄付ありがとうございます 令和元年9月16日から10月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上に厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★特別養護老人ホーム指定

金100,000円……………匿名

★特別養護老人ホーム物品等購入費指定

金30,000円……………陸別町 西村 寛

★仙美里へき地保育所指定

牛乳贈呈券 10,000円……………拓農酪農振興会 会長 佐々木信幸

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

計 金6,895,000円……………473人

戸籍のまど

お誕生

9月後半から
10月前半の
届出分

三浦 蒼隼^{あお と} 純平^{じゅんへい} 9/29 向陽町

佐々木 蓮斗^{れんと} 信幸^{のぶゆき} 10/10 拓農

おくやみ

薩田 孝義^{たけよし} 93歳 9/17 美里別西中

内山 勝志^{かつし} 77歳 9/18 東町

橋本 勝彦^{かつひこ} 74歳 9/20 南4丁目

畠山 辰男^{たつお} 91歳 9/21 柏木町

浅井 剛^{つよし} 90歳 9/24 北3丁目

井川 未吉^{みきち} 91歳 9/26 新町

遊佐 美男^{みお} 83歳 9/27 南4丁目

井出 ユキ子^{ゆきこ} 93歳 10/1 奥仙美里

三戸 ヒナ^{ひな} 93歳 10/8 柏木町

高田 三代治^{さんだいち} 69歳 10/9 栄町

亀島 政代^{まさよ} 98歳 10/9 北6丁目

星 愛^{あい} 77歳 10/12 仙美里元町

本のある暮らし

224

本別町生まれの絵本作家

きくち ちきさん が来る!

毎年、本に関わるさまざまな講師をお招きして開催する「本のまち夢づくり講演会」。

今年は、なんと！初めて本町出身の絵本作家をお迎えします。

きくちちきさんって、どんな人？どんな作品を描くの？

一答えは、図書館で展示中の「きくちちきの世界」でー

本のまち夢づくり講演会

とき

11月30日(土)

午後2時30分から

(午後2時 開場)

ところ

町体育館中競技室

内容

トークセッション

「ぼくから100年先への手紙」

絵本製作のきっかけ、作品に描かれるふるさとへの思いなどを語っていただきます。(一般・親子対象)

ライブペイント

「うまれる絵たち」

会場の皆さんと楽しくお話ししながら、大きな絵を描き上げていただきます。(児童・親子対象)

大胆な
筆使いを間近で！
またとない
チャンスです



講師プロフィール

きくち ちき

(本名：菊地 知己)

1975年、本別町生まれ。帯広市で中学・高校を卒業し、建築、デザインを学ぶ。グラフィックデザインの仕事に携わり、絵と物語の創作を開始。2012年作家デビュー。2013年、デビュー作の『しろねこくろねこ』が世界的絵本原画展で「金のりんご賞」を受賞。7年間で著作は20冊以上。武蔵野市立吉祥寺美術館で11月10日まで個展を開催中。



最新刊「しろとくろ」(2019年9月発行)より

わたしたちのまち

前月比

人口 6,936人(-20)

男 3,406人(-9)

女 3,530人(-11)

世帯数 3,637戸(-3)

〔9月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称：ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112